

6-5. 千葉県環境計量協会研修会 感想

株式会社 ユーベック
技術部品質保証課 真鍋 絵理

このたびは、このような研修会に参加させていただきありがとうございました。

東京臨海リサイクルパワーの見学では、膨大な量の産業廃棄物や医療廃棄物を処理し、副産物として排出されるスラグや金属を再利用するという循環型社会に向けたリサイクルを拝見しました。さまざまな工程を経て、ごみのごみでなくなるまでの過程には有害なガスなども排出されますが、エコプラントでは発生した有害排出物の処理についても徹底していて、法規制よりも厳しい自己規制値を設定し、それをきちんとクリアするという環境への配慮もされていました。

また、環境教育にも力を入れており、そのためにつくられた展望台からは東京湾や埋立地を見渡すことができました。しかし、ここで見たごみ埋立地最終処分場の狭さには驚きを隠せませんでした。エコが叫ばれ、いくらごみの削減をすすめても、ごみがなくなる限り増え続け、すぐにいっぱいになってしまうことでしょう。埋め立てよりもコストがかかることもあり、まだ全てのごみを委託されるにはいたっていないとお話がありましたが、ゆくゆくはこのようなエコプラントが増え、環境に配慮した形でごみを処理していかなければならないと思いました。

技術部技術課 松尾 かな

サッポロビール千葉工場。広い敷地に多くの木々が植えられており、見た目は工場という様子ではなかったです(『工場』ということで、もっと殺伐としているのだと想像していました★)。一番印象に残ったのはやはりビールの試飲。とてもおいしく頂きました。今まで工場見学をされた方の中で一番多く飲まれた方は 7、8 杯ということに驚きましたが、それ以上に今回のメンバーのできあがり具合にも驚きました。みなさん、ビールがお好きなようです☆大盛り上がりでした。

そのほか、ホップや麦を頂いたことが印象に残っています。ホップは初めて見、初めて食べました。どことなくフルーティーな香りがし、これがビールの原料になるとは・・・と思いました。また、ビールびんを製造ラインで見ることができました。実際に私たちが使用するびんはこういう工程を経て手に入るものなのだ実感しました。びんに関しては高い回収率を有しているということなので、他社との協力等、大きな努力をしているのだと思います。環境に優しいという印象を持ちました。

今回、このような研修に参加させて頂き、とてもうれしく思います。千葉県環境計量協会様には厚く御礼申し上げます。